

初心者でもできるパワーポイント教材

Sugawara Mutsumu
菅原 睦
埼玉県立草加高等学校教諭

1 はじめに

はじめにお断りしておきますが、このレポートはパワーポイント上級者向けの実践報告ではありません。普段からパワーポイントを使いこなしていて、さらに上のレベルを目指そうという方々の役には立たないと思います。そうではなくて、パワーポイントを使ってみたいけど、ハードル高そうだなあとお思いの方にこのレポートを読んでいただきたいと思えます。そうすれば、この程度なら自分にもできるんじゃないかと勇気がわいてきて、早速やってみようという気になれると思います。

2 パワーポイント作成の経緯

本校では、平成16年にHR棟が改築され、全HR教室にプロジェクターが設置されました。DVDプレーヤーやパソコンがアンプを通してつながれ、視聴覚室に移動しなくても教室でAV機器を使った授業ができるようになりました。私自身はその翌年に異動してきたのですが、当初は普通に黒板を用いた授業を行っていました。ただ、せっかく設備が整っているのだから、それを活用しなければ宝の持ち腐れだと常々考えていたところ、たまたま平成18年に英語科教員のための研修会に参加し、パワーポイントを利用した他校の先生方の実践報告を伺う機会がありました。それを見て、これは是非まねをしてみたいと思いました。パワーポイントを使ったら生徒の興味を引くことができるだろうし、正直な話、パワーポイントで一度教材を作ってしまうと、何クラスでも使い回しができて楽ができるだろうと不純な考えが頭に浮かんだのです。

3 作成の手順

パワーポイントに関してあまり詳しい知識を持っていませんでしたので、まずは市販されているパワーポイントの入門書を買ってきて（自腹）、基本的な操作方法を学ぶところから始めました。それを元に当時1年生の英語Iの授業で使用していたPOWWOWIのスライドを作ってみました。最初にできあがったものは、新出単語が順番に出てきて、

クリックすると意味が現れ、さらにスピーカーのマークをクリックすると発音が聞け、その次に本文が現れ、その読みが聞けるといった簡単なものでした。音声は指導用の音声CDから、音楽編集ソフトを使って単語の発音や本文の読みを一つずつ切り取ってパワーポイントに貼り付けました。このスライドはどちらかというと音声指導のための教材といったものでした。こうしてとりあえずはCDデッキを持っていく手間が省けるようになりました。

さて、もちろんこれだけでは物足りなかったので、次の年度のPOWWOW IIからはもう少しグレードアップを図ることにしました。授業の展開を考え、それに沿ったスライドを作ろうと思いました。まず、本文が映し出され、新出単語や熟語表現の意味が現れ、最後に日本語訳が出てくるという順番になるように考えました。

興味のある方の参考になればと思い、以下にその手順を示します。

- ①はじめに教師用データCDから本文をコピーします。大体Part一つをスライド3枚に収まるように分けるのがちょうどいいようです。
- ②その後、本文を1行ずつ空けて、その下に日本語訳を書き込みます。クリックするとその日本語訳が表示されるようにアニメーション効果をつけます。
- ③次にテキストボックスで単語や熟語の意味を挿入し、同様にアニメーション効果をつけます。
- ④説明の順番を考えながらアニメーションの順番を入れ替えます。

ここまでできれば十分に授業で使えます。あとは文字の色や背景の色を変えたり、自分の好みの体裁に整えれば出来上がりです。問題は音声ですが、これは音楽編集ができるフリーソフトをベクターや窓の手といったサイトで探してください。たくさん作られていますので、使えそうなものを見つけてください。本文の読みが入っている音声CDからそのフリーソフトを使って、1文ずつ切り取ってPartごとにフォルダにまとめておけば、後で分かりやす

いと思います。できなければ、音声指導は普通にCDデッキを使うことで対応できます。

さらに、Pointsもスライドにして文法の説明ができるようにしました。例えば、関係代名詞の説明ではクリックすると矢印が出てきて先行詞にかかるようにするとか、工夫しました。さらにハイパーリンクという機能を使って本文からPointsのスライドに飛べるようにしました。また、新出単語の発音も挿入しました。他にもフレーズ読みのためのスラッシュを入れたり、題材に関する写真や動画を挿入したりすることもできます。ただ、あまり盛りだくさん過ぎると、画面がごちゃごちゃとして見苦しくなってしまうので、本当に必要なものを整理したほうがいいです。また、写真や動画、楽曲といったものは著作権の問題があるので、取り扱いに注意しなければなりません。

4 パワーポイント教材の長所と短所

このようにして、何とか作り上げたスライドでしたが、実際に授業で使ってみると様々な点でメリットがありました。まずは、単純に板書の手間が省けることと、黒板を消す手間と飛び散るチョークの粉を浴びる被害を防ぐことができました。また、板書の際のスペルミスや漢字の間違いが少なくなりました（まだ、時々変換ミスがありますが）。パワーポイントを作ることが授業の予習にもなるし、当初の目論見通り、一度作ってしまえば何クラスでも使えます（同じ教科書を採択すれば何年でも使えます）。レーザーポインタつきの無線マウスを使えば、机間巡視しながらパワーポイントを操作し、生徒の様子を見ながら授業をすることができます。生徒にとっては、文字が読みやすくなり、説明が整理されて、今どの箇所を何を説明しているのかが分かりやすくなったのではないのでしょうか。また、音読をする際、今までは教科書を見ながら下を向いてぼそぼそと読んでいたのですが、スクリーンの本文を見ながら音読できるので、顔が上がって声が出やすくなったように思います。

ただ、もちろんいい点ばかりではありません。半年ぐらいたってから生徒にアンケートをとって見たところ、パワーポイントを使うことに関してはおおむね好評でしたが、改良したほうが良い点としていくつか意見が出されました。一つはスクリーンが見にくいということでした。前のほうの席の生徒たちはスクリーンが近すぎて首が疲れるし、後ろの生徒は文字の大きさや色によっては見にくいと書いてい

ました。また、プロジェクターの輝度が低く、室内を暗くしないと見にくいので、暗幕を閉めて蛍光灯を消すのですが、そうすると今度は手元が暗くてノートがとれないということになってしまいます。さらに、暗くなると眠くなってしまおうと率直な意見を寄せた生徒もいました。もちろん改善できることは改善しました。スクリーンに近い生徒は机を下げてもらい、蛍光灯も3分の1ぐらいはつけておくようにし、なるべく大きい文字を使い、背景の色を変えたり、文字色もコントラストがはっきりした色を使うように心がけました。

しかし、プロジェクターなどの機器に関することは解決が難しい問題です。現在ではプロジェクターの性能もかなり上がり、価格もかなり下がってきているので、機器の更新を要求しています。輝度の高いプロジェクターなら蛍光灯をつけたままでも画面が鮮明に映るので、ノートもとれるし、居眠りも防止できるでしょう。さらに、残念なことにプロジェクターが天井に固定されていて、スクリーンにしか映せないのです。可動式になっていれば、穴埋め問題などを黒板に映して、生徒を当てて直接カッコ内に記入させるといったこともできるのではないかと思います。しかし、プロジェクターが各教室に設置されている学校もそう多くはないと思います。ただ、今申し上げたとおり、機器の小型化も進み、価格も下がってきていますので、持ち運びも以前に比べれば楽になったと思います。1台購入してもらえれば十分活用できると思います。

さて、今まで何とか自分でパワーポイント教材を作成してきましたが、だいぶ慣れたとはいえ、それでもPart一つ分作るのに1時間半から2時間ぐらいはかかります。やはり既製のデジタル教材があるといいなと思います。他の出版社が作成したデジタル教材を使ってみたことがあります。さすがプロが作っただけあり、かなり使い勝手がよいと感じました。例えば、クリックすると新出単語の色が変わったり、意味が表示されたり、読みに連動して文の色が変わったりするといったことが自由にできるようになっています。ただ、自作のパワーポイントの教材のいいところは、自分の授業展開に沿ったものができるという点です。後で手直しもできます。そこでお願いですが、できれば後から説明を追加したり、単語の意味をつけ加えたりといったカスタマイズできるようなデジタル教材だと誰もが使いやすいものになると思います。わがままなお願いですが、文英堂の編集の方々、よろしくご検討お願いいたします。


ます。

5 おわりに

以上のように素人ながらパワーポイントで教材を作り、授業で使用してきましたが、多少なりともその成果はあったと感じています。現在、予習としてノートに本文を書き写させ、単語の意味を調べさせ、自分なりの訳を考えさせています。そのノートを元に、授業で補ったり、訂正させたりして試験前にノートを提出させていますが、おおむね生徒はみなきちんとノートを作成しています。スクリーンを見上

げて文法の説明事項などを一生懸命に書き写しています。ただ、今後の課題としては、パワーポイントの授業をただ聞くだけの受動的な姿勢から、能動的に生徒が参加できる授業形態を考えていかなければならないと思っています。もちろん、単語の意味を聞いたり、発音させたり、本文の読みをさせたりといった活動は取り入れています。知識を定着させ、自ら進んで発展させていけるようにしなければなりません。生徒たちの知的好奇心を引き起こすような授業展開を考え、そのためにパワーポイントを利用していただければと思っています。□

6 Lesson 2
Lesson 2 7



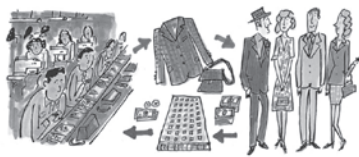
Part 1

What is Fair Trade?

When companies buy things from people in developing countries, they often try to buy things at low prices. Some companies offer a very low price and say, "Take it or leave it!" It is a kind of bullying. It is not fair.

If prices are fair, the people in developing countries can earn enough money to buy everyday things. Now many organizations and people all over the world are trying to be fair when they trade. As a result, you can find Fair Trade products in some supermarkets and shops.


Here is a Fair Trade catalog. Let's look at it.



fair [fɪə] trade [treɪd] developing [dɪvɪləpɪŋ] n. offer [ɔːfə] bullying [bʊlɪŋ] n. earn [ɜːn] everyday [ˌevriːdeɪ] n. organization(s) [ɔːrgənɪz(ə)ʃ(ə)n] result [rɪzlt] product(s) [prɒdʌkt(s)]

Fair Trade フェアトレード。公正貿易。消費活動を通じて発展途上の生産者を支援する国際協力活動のこと。 4-5. take it or leave it これを決めるかやめるか。 9. as a result: She practiced the piano every day. As a result, she played very well at the concert.

1. What do companies often try to do when they buy things from developing countries?
 2. Where can you find Fair Trade products?



オーガニックコットン(インド) 綿のがごを織む女性たち(ケニア)

Points

1. to 不定詞: 「to + 動詞の原形」

- 文中の働きによって、次の3つの用法があります。
- ① Companies often try to **buy** things at low prices.
「最低価格でものを買うこと」(名詞的用法)
- ② They can earn enough money to **buy** everyday things.
「日用品を買うための」(形容詞的用法)
- ③ I **went** to the supermarket to **buy** some milk. (← Part 2)
「牛乳を買うために」(動詞的用法)

● 副詞的用法は「…して」と理由を表すこともあります。
 I'm happy to see you. (← Part 2)

Example A: What do you want to do here in Hawaii?...①
 B: There are a lot of things to do...② First I want to go shopping...① Next I...
 A: I thought you came here to study English...③

Drill

下線部に注意して、次の文の意味を言いなさい。

1. They went to the park to play soccer.
2. I wanted to take my brother to the festival.
3. I have a lot of work to finish by next Monday.

Lesson 1

FAIR TRADE

*fair 「公正な」 *trade 「貿易」

*fair trade 「フェアトレード、公正貿易」
(貿易を通じて発展途上国の生産者を支援する国際協力活動)

What is Fair Trade?

When companies buy things from people in
*company 「会社」

developing countries, they often try to buy things at

(発展途上の) *to不定詞「~すること」

low prices. (名詞的用法)

(値段、価格)

会社が発展途上国の人たちからものを買うとき、しばしば安い値段で買おうとします。

Some companies offer a very low price and say, "Take
(提案する、提示する)

it or leave it!" It is a kind of bullying. It is not fair.

(これで決めるかやめるか) *a kind of ~ (いじめ)

(*leave 「立ち去る」) 「一種の~、~のようなもの」

中にはとても安い値段を提示して、『これで決めるかやめるか』と言う会社もあります。それは一種のいじめです。公正ではありません。

If prices are fair, the people in developing countries can earn enough money to buy everyday things.

「(お金を)稼ぐ」 *to不定詞「~するための」(形容詞的用法)

もし値段が公正ならば、発展途上国の人たちは日用品を買うのに十分なお金を稼ぐことができます。

Now many organizations and people all over the world are trying to be fair when they trade.

(組織) *all over the world 「世界中の」

*to不定詞「~すること」(名詞的用法)

今や、世界中の多くの組織や人々が、貿易をするときに公正であるようとしています。

As a result, you can find Fair Trade products in some supermarkets and shops.

(結果) *as a result 「その結果」 (製品)

その結果、フェアトレード製品をスーパーマーケットや店で見つけることができます。

Here is a Fair Trade catalog. Let's look at it.

(カタログ) *look at ~ 「~を見る」

ここにフェアトレードのカタログがあります。見てみましょう。

*She practiced the piano every day. As a result, she played very well at the concert.
彼女は毎日ピアノを練習した。その結果、彼女はコンサートでとても上手に演奏した。

PART 1 QUESTIONS

1. What do companies often try to do when they buy things from developing countries?

They often try to (buy) things (at) (low) (prices).

2. Where can you find Fair Trade products?

We can find them (in) (some) (supermarket) and (shops).

Points

1. To不定詞:「to + 動詞の原形」

① Companies often try to buy things at low prices.
「~すること」(名詞的用法)

② They can earn enough money to buy everyday things.
「~するための」(形容詞的用法)

③ I went to the supermarket to buy some milk.
「~するために」(副詞的用法)

● I'm happy to see you. 「~して」(副詞的用法)
「あなたに会えてうれしい。」



Example

A: What do you want to do here in Hawaii?
「~すること」(名詞的用法)
「あなたはここハワイで何をしたいの。」

B: There are a lot of things to do. First I want to go shopping. Next I...
「~するための」(形容詞的用法) 「最初にショッピングに行きたいし」
「することはたくさんあるわ。」
「次に...」

A: I thought you came here to study English.
「~するために」(副詞的用法)
「あなたは英語を勉強するためにここに来たんだと思うけど。」

Drill

1. They went to the park to play soccer.
「~するために」(副詞的用法)
「彼らはサッカーをするために公園に行った。」

2. I wanted to take my brother to the festival.
「~すること」(名詞的用法)
「私は弟をお祭りに連れて行きたい。」

3. I have a lot of work to finish by next Monday.
「~するための、~すべき」(形容詞的用法)
「私には来週の月曜までに終わらせるべき仕事がたくさんある。」